

あなたもチャレンジ 家庭菜園

カリフラワー 純白な花蕾を適期に収穫

園芸研究家 成松 次郎

図1 苗作り

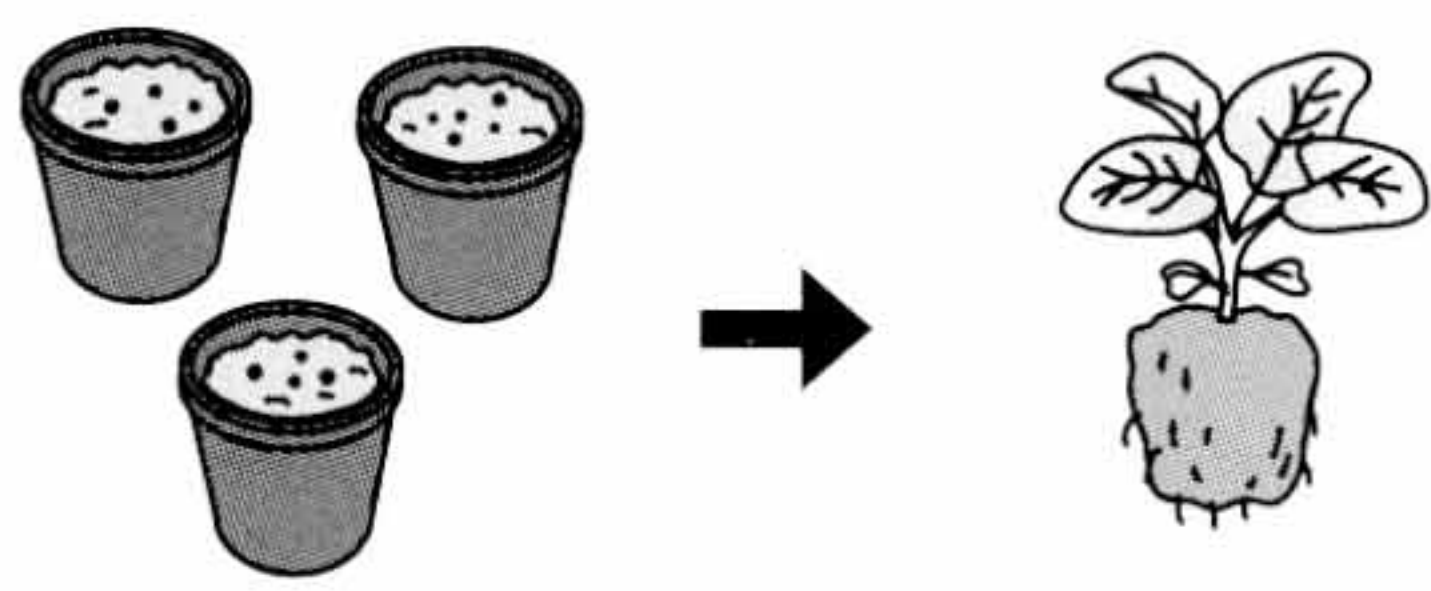


図2 畑の準備

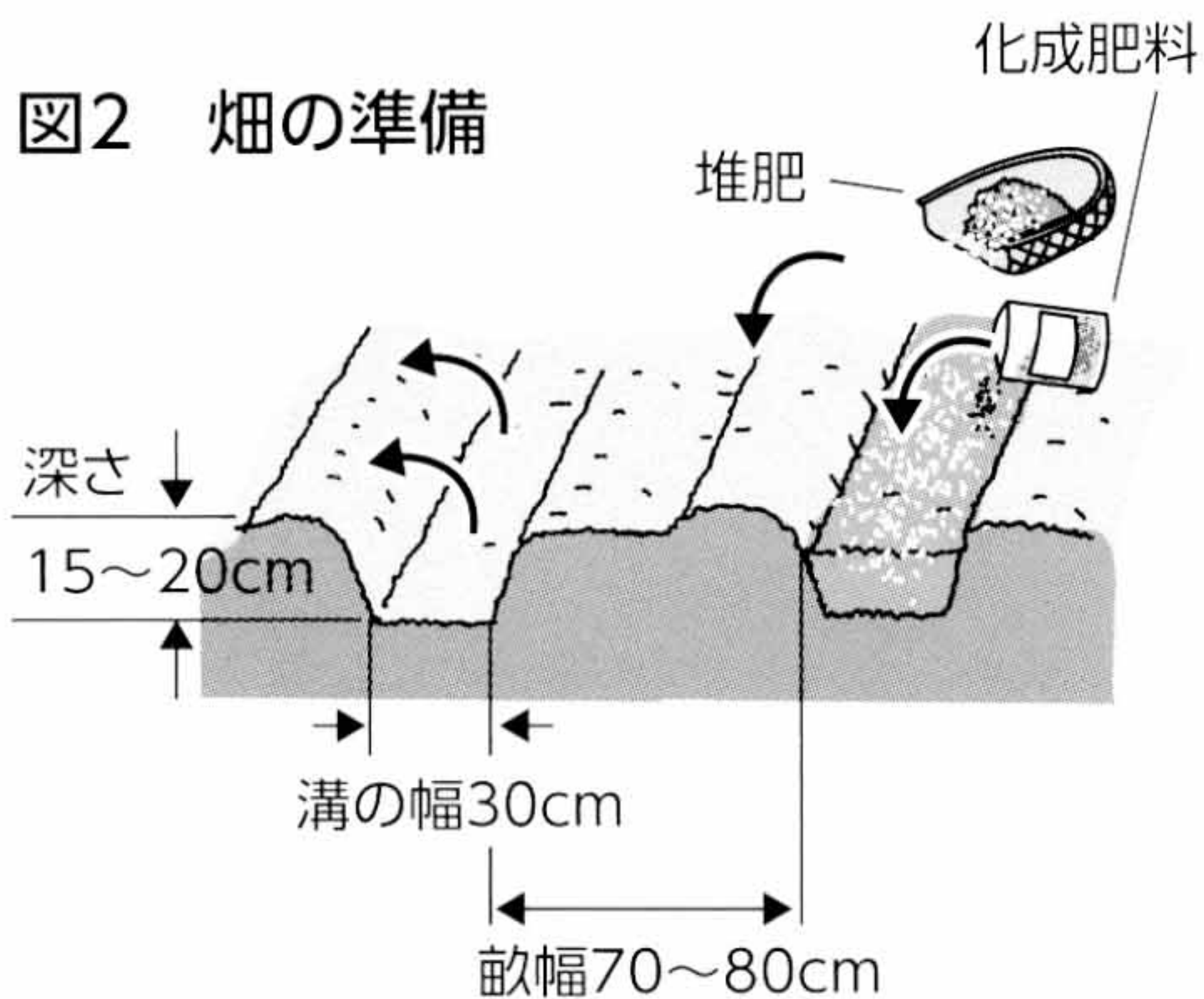


図3 植え付け

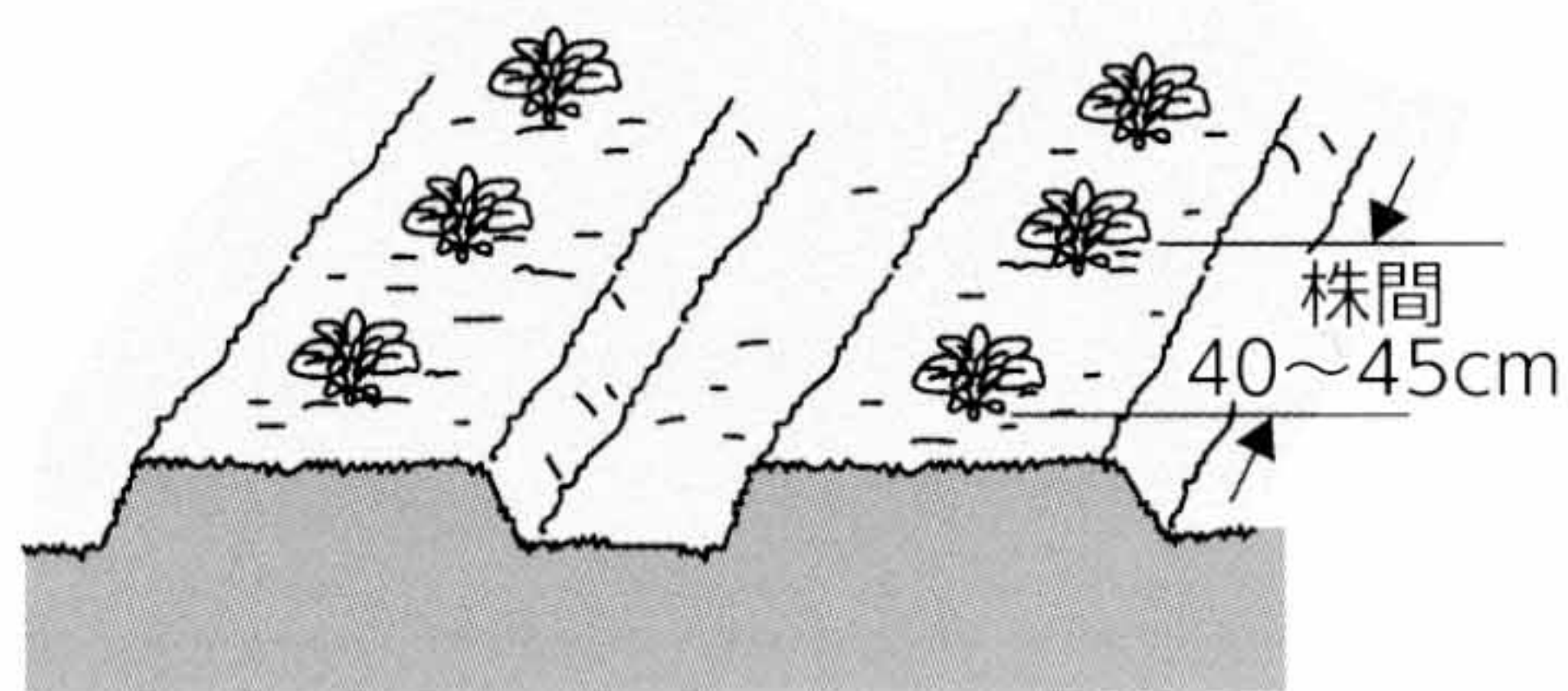


図4 追肥

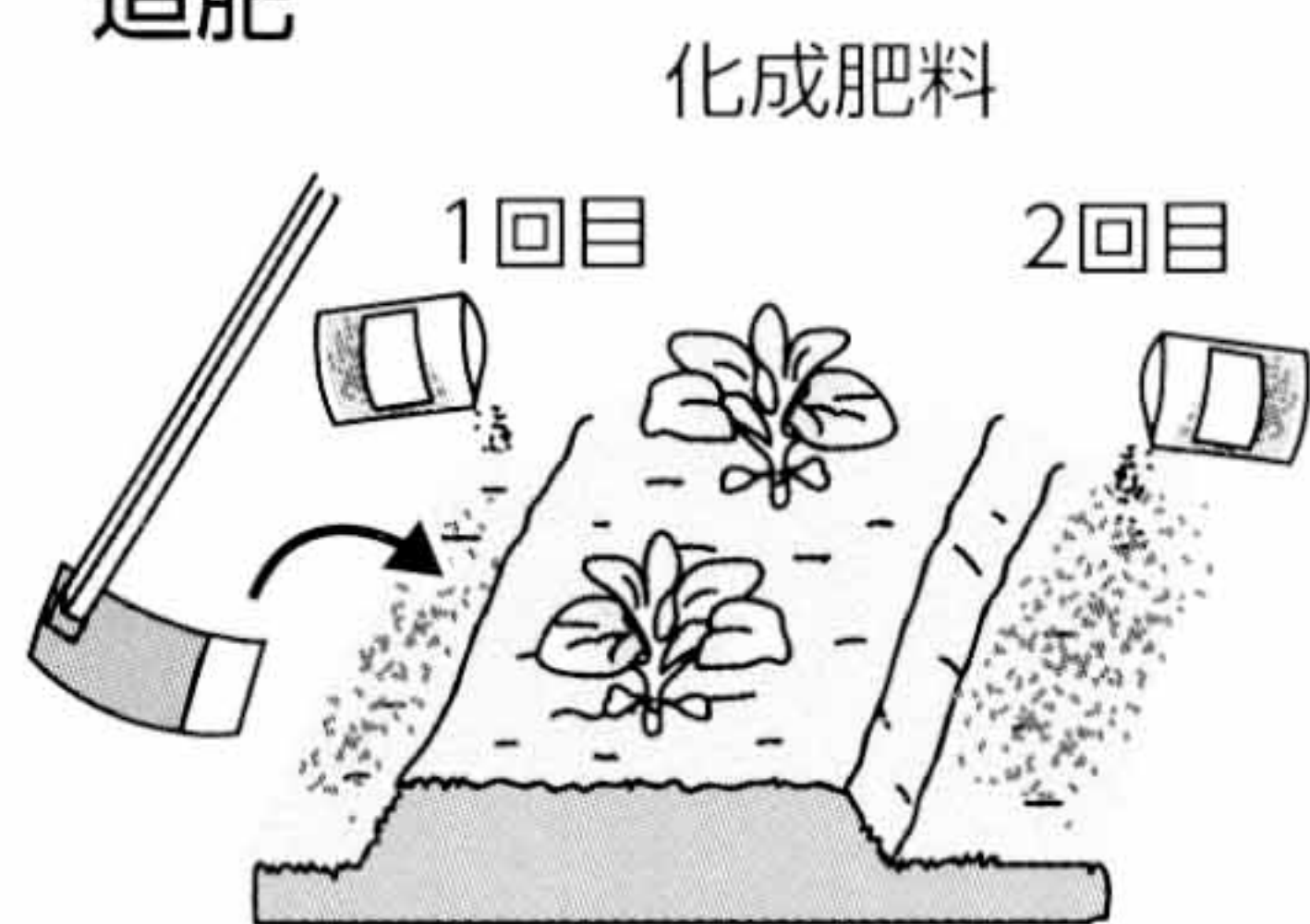


図5 日よけ



図6 収穫



カリフラワーの生育適温は15℃
20度といわれ、耐暑性、耐寒性の
ある野菜です。夏まき・秋冬取り
が一年で最も作りやすい時期で、
温暖地では7月中旬～8月下旬が
種まき期です。

【品種】

カリフラワーは花蕾（からい）が
できるには、茎葉の大きさとなる程
度の低温が関係し、中生品種は早生
品種に比べ、より進んだ生育と、よ
り低い温度が必要です。そのため、
長い間の収穫を楽しむには品種の使
い分けが必要です。早生品種では
「バロック」（サカタのタネ）、
「スノークラウン」（タキイ種苗）、
「雪まつり」（武蔵野種苗園）など、
中生品種では「輝月」（野崎採種場）、
「スノードレス」（タキイ種苗）な
どがあります。茎葉と花蕾がコンパ
クトな「美星」（サカタのタネ）、
スティック状に花茎が伸びる「カリ
フローレ」（トキタ種苗）など、ユ
ニークな品種もあります。

【苗作り】

直径7.5～9cmのポリポットを使い
1ポット当たり4～5粒をまき、子
葉展開時に密生部を間引き、本葉2
～3枚で1株に間引き、本葉5～6
枚まで育てます。128穴のセルト
レイでは1穴2粒まき、間引いて本
葉3～4枚まで育てます。（図1）。
育苗期間中は、防虫ネットのトンネ
ル被覆で害虫の飛来を防ぎます。

【畑の準備】

植え付け2週間前に、1平方m当
たり苦土石灰100gをまいて、深
く土を耕しておきます。1週間前に
畝幅70～80cm、深さ15～20cmの溝を
掘り、この溝1m当たり化成肥料
（NPK各成分10%）100g程度
と堆肥2kgを施し、土を戻してよく
混ぜて畝を作ります（図2）。

【植え付け】

本葉5～6枚の頃、株間40～45cm程度に
植え付けます（図3）。植え傷みが起こら
ないように、植え穴には十分水を注いでお
きましょう。

【追肥】

植え付け20日後ごろに畝の片側に化成肥
料を畝1m当たり50gくらいまいて、土寄
せします。その20日後ごろに畝の反対側に
同量を施用します（図4）。

【病害虫の防除】

ヨトウムシ、コナガなどが多いので「ト
アロー水和剤CT」などで駆除します。

【収穫】

花蕾が見えたら、花蕾に日焼けや汚れが
付かないように、外葉の1～2枚を内側に
折って花蕾に載せます（図5）。花蕾が12
cm以上の大きさになり、つぼみの表面が緻
密なうちに、外葉を6～7枚付けて切り取
ります（図6）。